

広島国際大学裏千家茶道部 (広島国際大学)

平成
23年度

◎チーム紹介と活動内容

「広島国際大学裏千家茶道部」は、広島国際大学の11名からなるチームです。

活動内容は、子どもたちに日本の文化である茶道を体験してもらうことです。子どもたちにお茶会の体験やお茶に関するクイズに答えてもらうことを通して、日本の文化である茶道について関心を高めていきたいと考えています。皆さん、放課後子ども教室で茶道を楽しみましょう。

◎活動の様子

活動教室：熊野町土曜くまのっこ教室

日時：平成24年2月4日（土） 10:10～11:40

場所：熊野町民会館

参加人数：7名（大学生ボランティア）、23名（子ども）



子どもたちは、茶室に入る前に大学生から「お箸の扱い方」を教してもらいました。実際に茶室に入ると独特の雰囲気子どもたちは緊張した様子でした。大学生は子どもたちに茶室の中で「おじぎの仕方」、「お箸の扱い方」、「鉢の扱い方」、「薄茶のいただき方」などを丁寧に教えていました。



子どもたちは、大学生からの教えをもとに「おじぎ」、「おかしのいただき方」、「薄茶のいただき方」を実際に茶室で体験していきました。日本の文化である茶道は、普段の生活ではあまり体験することができません。大学生から茶道を教もらったことは、子どもたちにとって大変貴重な経験になりました。

○学生の皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

初めての活動だったので、大変なことも多かったが、教室のスタッフの方にサポートしていただけて無事に活動を終わることが出来て良かった。子どもたちは、少し教えただけで「お箸の扱い方」などがきれいにできていたのでとても嬉しかった。子どもに茶道を教える機会は大学での活動ではないのでとてもいい経験になった。小さい子にも、茶道を親しんでもらえて良かった。

○市町スタッフの皆さんからの声（インタビュー、アンケートより）

初めてお茶を体験する子は少なかったものの、茶室に入るのは初めてなので、緊張して茶道体験をすることが出来た。お茶が飲めない子がいたが、一口は我慢して飲むことができて良かった。クイズ形式でお茶の歴史などを学べ、子どもたちや見学に来ていた保護者とも勉強になった。箸の持ち方は一人ずつ指導をしてくれたため、みんな上手に扱えるようになり喜んでいました。